

令和8年度 津山教育事務所管内
PTA等指導者人権教育研修会

【日時】

令和8年7月3日（金）

13:30～16:00

【会場】

グリーンヒルズ津山

リージョンセンターペンタホール

「子どもの心を育てる

～子どもの権利条約×非認知能力の育成～」

非認知能力とは、テストの点数のように「共通の物差し」で測れる能力（認知能力）とは異なり、数値化しにくい内面的な力のこと。

「心の力」と言い換えることができます。3つの柱として

- ①自分と向き合う力：感情をコントロールし、失敗しても立ち直る力
- ②自分を高める力：自ら進んで取り組む意欲や、自信
- ③他者と繋がる力：周囲と協力し、相手を思いやる力

家庭や学校でできることとして、

「結果」より「変化」を褒める：テストの点数そのものよりも、そこに至るまでの気持ちの切り替えや努力の過程を褒めることが重要です。

適切な問いかけ：「何があった？（出来事）」や「どう思った？」だけでなく、「どうしてそうなった？」「次はどうする？」という問いを投げかけることで、思考を深めさせます。

やっではないいけない子育てに注意：先走りすぎる指示や、過去の蒸し返し、感情的な比較などは子供の主体性を削ぐため、意識して避ける。

All HEROs

代表 中山 芳一 氏

著書「やっではないいけない子育て」

（日本能率協会マネジメントセンター）

読んでみてください。

子どもの権利条約（国際連合1989年採択）では、4つの権利（・生きる・育ち学ぶ・大人に守られる・自分の考えを表現）が示されている。親子の合意形成でも押し付けでなく「折衷：歩み寄り」「説得：納得を促す」「委任：委ねる」「試行：条件付きでやってみる」が大切。

「ルールに乗せる時代ではない。これからの変化の波に乗っていけるサーファーに育てよう！」



参加者の感想

○興味深い内容でした。元気がもらえました。子どもの「心」を大切にしていきたいと思います。他地区のPTA活動のことも聞けてよかったです。

○中山先生の話聞いて、普段の自分の子育てを見つめ直す機会となりました。我が子と関わる上で今日話を少し思い出しながら日々すごしていけたら良いなと思いました。

○現代の子ども達に合った育て方が何なのかを考えるきっかけづくりになりました。子どもたちや保護者の方にも、ぜひ聴いてほしい内容だなと感じました。ありがとうございました。

○「VUCA時代のサーファーになろう」「自分以外の他者の視点をもつ」「働くとは傍（はた）を楽（らく）にすること」など、子どもたちに伝えたいと思う言葉がたくさんありました。

○グループ協議ではとてもいいディスカッションができました。あっという間の時間でした。